

第5節 心温まるメッセージ

2022年5月30日(月)から始まる山陰本線の旅を友人にSNSやSMSで発信したところ、沢山の方から心温まるメッセージを恵送頂きました。その一部を抜粋してご紹介します。この場をお借りし、厚く熱く御礼申し上げます。

(^^♪・・・・・・・・・・(^^♪・・・・・・・・・・

○お疲れさまでした。無事の踏破は何事に増しておめでとうございます。地方鉄道の存続が言われている中での貢献度も高く、充実感満載の素敵なウォーキングで元気を分けて頂きありがとうございました。

○カッシー館見学しました。それにしてもまあ、JR、私鉄、地下鉄、モノレール、何でもありですね。夢に向かってまっしぐらといった感じを受けました。1日40kmは驚きです。このバイタリティはどこからくるのか不思議です。ソフトボール、スキー、ゴルフ、登山、旅行などなどけっこう楽しい思い出がありますが、鉄道つたい歩きという世界でしっかり足跡を残しましたね。何か一つ完全燃焼をされたことは、人生悔いはありませんね。これからも無理のない程度で継続して下さい。

○カッパ着用での歩き旅は、大変だったと思います。梅ヶ峠駅はローカル線らしい駅ですね。これからブログ作成などでお忙しいと思いますが、その前に疲れを取ってください。

○雨の中の踏破だったのですね。おめでとうございます。それだけ祝杯もおいしいですね。

○目標達成、素晴らしいですね！

○8万歩はすごいですね。吉田松陰は山陰地方だったのですね。萩焼きはやはり綺麗ですね。この優しさが何とも言えません。是非一度は行ってみたいです。カメラを置き忘れていたのですか??見つかるまで気が気でなかったでしょう。あって良かったですね。海に沈む夕日が綺麗ですね！私が一番好きの夕日のパターンです。今日も一日安全で歩いてくださいね！山陰地方にも夫婦岩があるので、三重県の夫婦岩には修学旅行で行きました。西から天気が崩れそうなので気をつけてくださいね。昨日は雨の中お疲れ様でした。体調崩されていませんか??もう新幹線でしょうか。いいお酒が飲めますように。今日はゆっ

くり休まれてくださいね。カッシーさんが一粋に来られてからそろそろ一年たちますね。旅の写真を見せて下さるので、私もいい気分になります。山口行ってみたいですねー。角島??でしたけ?島に橋がかかっているところ。そこに行ってみたいです。



○梅ヶ峠駅は”うめがとう駅”と読むのですね。お疲れ様でした。きっと素晴らしい景色なのでしょう。



○八万歩は凄い。相変わらず楽しそうですね。

○山陰本線はこれからの季節はいいのでは。雨にも注意を。楽しいで。土地感
はつかめないが、雨にも負けず、元気だね。気をつけて。

○私のルーツも中国です。ありがとうございます。頑張ってください。海に沈
みゆく素晴らしい夕日の風景ありがとうございました。頑張ってください。夫婦
岩とても懐かしいです。ありがとうございます。雨のなかご苦労様でした。

○今、地図帳で梅ヶ峠駅と幡生駅を見ました。

○まだ5月というのに夏日、猛暑日だそうです。水分補給で熱中対策お願いし
ます。先ほどカッシー館に立ち寄らせて頂きました。早くも島根県。35 kmは6
万歩歩くらいになりますでしょうか。すごいです。山口県日本海側を西から東
方向ですね。もう少し先に誤振込で有名な阿武町があります。8万歩はもはや
鉄人。きれい夕日ありがとうございます。天候にも恵まれておられます。日本
海はおだやかですか。山口県を満喫されています。下関と言えば、高杉晋作、
吉田松陰、踏破も祝杯は格別でしょうね。山陰本線のゴール間近、素晴らしい
写真ありがとうございます。伊勢の二見浦でなくこちらにも二見浦があるので

すね。昨日の豪雨にもめげず、無事に踏破のこと、おめでとうございます。風邪などひかれませんようにご自愛下さい。



〇35キロメートルなんて・・・カッシーさんには容易なことなのかもね!!! やっぱり若い頃からの努力の賜物ですね。8万歩なんて夢のまた夢。カメラ見つけて良かった！綺麗な夕日ありがとう。夫婦岩の写真ありがとう！快調ですね！豪雨の中、無事に踏破おめでとうございます。祝杯の味も格別だったでしょうね！



○カッシー館拝見しました。難しい区間が多々あるとの事ですが、どうか気を付けて進んで下さい。良く歩きましたね！！35 kmは高松から琴平位でしょうか？疲れは大丈夫ですか？8万歩って気が遠くなる数字です。私は最高2万歩しか歩いたことがありません。最高気温も高くなってきたので無理されないようにしてくださいね。カメラ見つかって良かったですね。2往復した甲斐がありましたね。1番の相棒ですもの。夕日が綺麗ですね。雨の中の踏破。お疲れ様でした。お家でしばらくゆっくりしてくださいね。

○大変でしたネ。夕日がきれいです。東京は今日の午前中が雨のピークです。大分、濡れたのではないですか。でも、準備周到で何よりです。

○お疲れ様です。に人形岩初めて見ました！居ながらにして見られ、ありがとうございます。カメラ見つかって良かったですね！！夜のお酒がさぞ美味しかったことでしょうか。夕日も格別の感がありましたね。お疲れ様でした。東京も一日雨のようです。ゆっくりお疲れを癒してください。

○凄い！人形岩案内通りの画像です。すご〜い綺麗。しばらくこんな風景はみてないなあ〜いいですね〜ポーっと見ていたい心境で〜す。お天気は大丈夫ですかあ〜二見浦の夫婦岩をご夫婦で拝むとグーな事、ハッピーな事に遭遇するそうですよ〜良い旅を〜足元気をつけてくださいね。美味しい物を食したら写真送ってください〜い。



○指月山の夕景、綺麗です。下関にも二見浦夫婦岩があるって知りませんでした。梅ヶ峠駅、無人駅みたいですね。



○山陰本線の仕上げ旅またまた楽しい旅にしてください。指月山の夕日美しいですね。ありがとうございます。二見浦の夫婦岩の写真ありがとうございます。私は行ったことがありません。

○コロナウイルスと体調管理に注意し頑張ってください。

○山陰本線、執筆ご苦労様です。また、拝読させていただきますね！お疲れ様です！暑い中、ご苦労様でした。また、出来上がりを楽しみにしています！お疲れ様です！雨の中、無事に達成おめでとうありがとうございます。編集頑張ってくださいね！

○日本海沿線の鉄道連結の金字塔を目指しての旅、お気を付けて行ってらしてください。豪雨では足下も悪かったのではないのでしょうか。ご無事で何よりでした。お疲れ様でした。

○山陰いいですね、お気をつけて楽しんでください。8万歩、凄い、頑張りましたね。天気も良さそうなので、存分に楽しいで下さい。ご苦労様でした。カッパは大変でしたね。小生は傘とポンチョで多少濡れても通しています。ブログ楽しみにしています。

○毎日カッシー館を開くのが楽しみです。山陰踏破をお祈りし、6/6をお待ちしております。30 kmとは凄い！東海道五十三次でも、せいぜい五里というのに！おめでとうございます。紀行文を楽しみにしております。

○まずは海外線つたいですね。気持ち良さそうです。傘が機能しないくらいの豪雨のなか、お疲れ様でした。大変だった分一層、祝杯が身体に染まり渡りそうですね。

○益々元気で活動されていますね。体調に気をつけて頑張ってください。私は海外旅行を再開しました。まず手始めに高校同窓生と7泊9日のハワイから一昨日帰国しました。

○大雨の中無事目的か完遂おめでとうございます。怪我無く良かったです。風邪をひかないように。京都で会えるのを楽しみにしています。

○頑張ってください♥少し天候がよくないかも？足に気をつけて！ファイト！お疲れ様！すごいなあ。山越えは、きつかったでしょう！あまり無理しないようにね！ゆっくり休んでください。昨日は、豪雨の中、本当に大変でしたね！お疲れ様です。雨にも負けず。風にも負けず、ひたすら歩くのみ。ご立派です。感服しました。足、気をつけてください。

○今日から山陰本線ですか？第1弾、第2弾は真夏と厳しい歩き旅ですね！楽しんでください。凄いですね。豪雨の中お疲れ様でした。ゆっくりお帰りください。

○道に迷うこともあるのですね！30キロは凄い！気をつけて続けてください。こちら北海道へ20日間の旅に出発します！初めてばかりでワクワク♪産業遺産を巡ります。雨にも負けず！ですね。達成感ハンパ無いでしょう♪止められませんが。支笏湖プールとは当にこの事かと感激で一す。木々に囲まれた湖畔の宿で2泊。樹齢700年の桂に会いました。今日は洞爺湖のウインザーホテル見に行ってきます。

○気をつけて行ってくださいね。私も明日から一泊2プレイで久美浜城崎へ出かけます。

○西の方面は、ひどい天候の予報でしたが、山陰本線踏破おめでとうございます。お気をつけてお戻り下さい。

○今日から7泊8日の旅なのですね。楽しんで来て下さいませ。お疲れ様です。良い旅で良かったですね。

○相変わらず頑張っておられますね。いい旅にいいお酒、楽しんで下さいね～雨の中お疲れ様でした。新下関からですね。ゆっくり祝杯を楽しんで下さいね～

○本日から7泊8日の旅なのですね。初日の今日はどうでしたか？今日もすごく暑かったですよね。まだまだゴールは先かと思いますが、お体に気を付けて頑張ってくださいね。そちらは小雨だったのですね。そのような中、10キロ近く歩くのは大変だったと思います。もうすぐホテルとの事ですのでゆっくり休んで下さいね！昨日は豪雨の中大変でしたね。2、3日前はヒョウが降っているところがあったようでしたが、大丈夫でしたでしょうか？無事、最終日を迎えられたようで何よりです。どうか気を付けて帰ってきて下さいね！お疲れ様でした！

○雨等、悪天候の中、お疲れ様でした。

○8万歩！お疲れ様です！

第6節 4日目：6月2日（木）：奈古～東萩&観光 晴れ

2022年6月2日（木）晴れ、山陰本線の旅の4日目は、奈古駅から東萩駅までの営業キロ11.8kmの挑戦と歴史の街萩市観光とする。当初は昨日の6月1日（水）を予定していたが、私の九カ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”のうち、第5条にある「先憂後楽」の考え方などに基づき、日程をチェンジする。カメラをロストしそうになるハプニングにも遭遇したが、結果大成功。また、不測の事態を想定し、東萩駅7時44分発を始発の6時22分発に変更した。更には、待ち時間などを上手く活用し、5月31日のウォーキングで木与駅から奈古駅まで一駅（営業キロ4.6km）駒を進めた。これにより、半日の萩市内観光が可能となった。「**何事も早め早めの対応が大事である**」ことを、改めて本日の歩き・観光を通じて教えてもらった。



※東萩駅



※奈古駅、長門大井駅への路

本日の歩きと観光の時間割は次のようになった。

<歩き>

奈古（6:38）～長門大井（8:14）～越ヶ浜（10:05）～東萩（11:02）

<萩市観光>

吉田松陰歴史館（11:45）～松下村塾（12:02）～松陰神社（12:06）～萩・明倫学舎（13:26）～萩港（15:18）～萩八景遊覧船（16:00）～萩焼（16:53）～萩城跡・指月山（17:00）

①今話題の阿武町に所在する奈古駅（阿武町の中心のターミナル？）を6時38分スタートする。6時53分、下関119km、長門41km、萩15kmと記した道路標識前を通過する。6時56分、道の駅阿武町前を通過する。ここから越ヶ浜にかけて、風光明媚な海岸線である”北長門海岸国定公園”が続く。7時10分、JRはトンネル、国道191号線は洞門（万歩計で122歩）、歩道は通常の道筋とな

るエリアを歩く。恰も風光明媚で穏やかな瀬戸内海の海岸線を歩くような心境となる。遠くに大島が見えて来る。本日はこの島を見ながらの歩きとなる。海岸線には小舟や釣り人の姿があった。7時30分、2両編成の列車（東萩方面）と対面する。



※道の駅”阿武町”、北長門海岸国定公園の標識



※遠くに大島、小船



※釣り人、長門大井駅への路、大井西踏切

8時頃、飴玉購入とトイレ休憩のため、コンビニに立ち寄る。コンビニを出る際、店員さんに聞いたところ、ラッキーにも直ぐの信号を左折し、踏切を横切った

先に長門大井駅があるとのことであった。8時8分、大井西踏切を横切り、300m位戻った先に長門大井駅（8時14分）があった。



※長門大井駅



※長門大井駅

②8時21分、再度大井西踏切を横切り、国道191号線（8時26分）に戻る。8時56分、大井浦港前で下関115km、長門37km、萩10kmと記した道路標識前を通過。9時13分、奈古駅に向かう路線バスと対面する。9時43分、萩な宿”萩小町”前を通過。9時55分、越ヶ浜中学校前を通過。9時57分、至誠館大学前を通過。国道から5m位上がった先に越ヶ浜駅（10:05）があった。



※笠山、大島



※萩小町、下関まで 111 km地点



※越ヶ浜駅への路、越ヶ浜駅



※越ヶ浜駅、越ヶ浜を背景にして

③10時50分、小畑踏切で長門市行きの列車が通過して行く。この境界の林で今年初めて蝉の声を聴く。淡々と歩いた先に東萩駅（11:02）があった。駅構内にある観光案内所に立ち寄り、半日で回れるお薦めの観光地をお伺いする。



※東萩駅への路、小畑踏切



※東萩駅への路、蝉の声



※東萩駅



※東萩駅

< 観光編 >



午後からの観光は、乗りやすく大変便利な”萩循環まあるバス”を活用しての旅（どこまで乗っても100円）となる。路線図は、東回りコース（松陰先生）と西回りコース（晋作くん）があった。いずれのコースも萩市役所が起点となっていた。

乗りやすく大変便利な
萩循環
まあーるバス

どこまで
乗っても!
¥100

東回りコース (松陰先生)
始発7:00~終発18:00

西回りコース (晋作くん)
始発7:00~終発18:00

バスに乗って楽しむ萩の観光

1日乗車券 500円(小学生以下は半額)
2日乗車券 700円(小学生以下は半額)
3000円券 1000円(小学生以下は半額)
3000円券 3000円(小学生以下は半額)
回数券 1000円(小学生以下は半額)
1100円(小学生以下は半額)

バスに乗って楽しむ萩の観光

萩市観光案内所・萩市観光協会
萩市観光センター・萩市観光協会
萩市観光協会
萩市観光協会
萩市観光協会

④松陰神社などの観光 (11時45分~13:00)

東萩駅発 11時26分の東回りコースで松陰神社前まで移動する。吉田松陰歴史館、松下村塾、松陰神社、学びの道を散策する。この観光地でランチ休憩とお土産を購入する。松陰神社で御朱印も頂く。



※松陰神社、吉田松陰歴史館



※吉田松陰歴史館



※松下村塾、松陰神社



※学びの道



※ランチタイム、まあーるバス

⑤萩・明倫学舎の観光（13:26～14:40）

松陰神社前発 13 時 9 分の東回りコースで萩市役所まで移動する。1 号館の他、2 号館（有料）の幕末ミュージアムや世界遺産ビジターセンターも散策。中でも、伊能忠敬の日本地図作成の場面は特に印象に残った。カフェ・レストランで新山口駅北口から萩（萩・明倫センター、萩バスセンター、東萩駅）を結ぶ高速バス（スーパーはぎ号：大人 1,600 円：1 日 4 往復：所要時間約 60 分）について情報提供がある。今後萩へ旅する場合、アクセスの強い見方になろう。



※萩・明倫学舎



※展示物



長州ファイブと一緒に

⑥萩港の立ち寄り（15:15～15:20）

萩・明倫センター発 15時1分の西回りコースで定期船乗り場入口まで移動する。この港から大島航路（所要時間 25 分）、見島航路（70 分）、相島航路（40 分）があった。なお、萩八景遊覧船と勘違いで下車となる。



⑦萩八景遊覧船 (16:00~16:50)

定期船乗り場入口発 15 時 41 分の西回りコースで萩城跡・指月公園入口まで移動する。乗船は私一人の貸切状態。しかも待ち時間なしの最終便。心地よい環境の中、菊池さんという若い女性の船頭さんに道中色々解説頂く。今回の旅で最も印象に残るスポットであった。

萩八景和歌集

歌人 安部 春貞

五江の秋月
江の波に影さへ白玉も
大くくばかりの秋の夜月

常江の海帆
遠島か
波もひとつにみどりなる
雲よいでて 鳴るつり舟

鶴江の夕照
鶴のいる
八江の村の柳影に
残る夕日影のやけき

小松江の曉鐘
山の端も
霞わたるて遠き江白
松よけけす 八瀬の鐘

下津江の登羅
青明の
入江の芦のほのぼのと
あくる空より 響つる鶯がね

中津江の夜舟
更なる波の
舟もふる江のしづが崖に
灯火の影

上津江の晴嵐
山川の
瀬舟の帆影たもとくに
江の流見くす 竹風かな

みどころ

萩八景めぐり

萩八景とは

毛利氏居城地である萩市は、山と川に囲まれた美しい景観を誇る。その中でも、八つの美しい景観を「萩八景」と呼ぶ。この遊覧船では、これらの名所を巡り、その歴史と文化を学ぶことができる。

乗船場所 / 運行ルート (船名)	乗船時間	運行時間	乗船料 (乗客)	運賃 (乗客)
定期船所 常江船所 (船名)	3月~10月	9:00~16:00	大人 1,200円 小児 600円	大人 600円 小児 300円
	11月	9:00~15:30	大人 1,000円 小児 500円	大人 500円 小児 250円

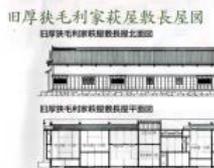
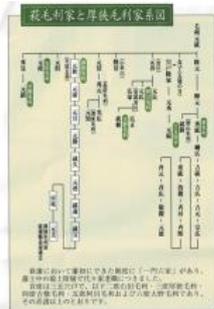




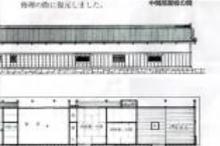
⑦萩焼の観光 (16:50~17:00)



⑧萩城跡の散策と指月山登山 (17:10~18:40)



厚狭毛利家萩屋敷長屋
 萩屋敷長屋は、毛利家臣の末裔毛利家臣とすゝも毛利家の一門です。毛利家臣の末裔とすゝも毛利家の一門です。毛利家臣の末裔とすゝも毛利家の一門です。...





標高 143m ある指月山を 2 往復（片道 730m）する。17 時 24 分、頂上で萩の街並みをデジカメに収めようとしたところ、カメラがないことに気付く。辺りを散策し、探す但デジカメ見当たらず。瞬間的に頭の中が真っ白となる。止むを得ず、登山の途中に落とした恐れもあるので、先程登って来た路筋を丁寧に点検しながら下山する。しかし、見当たらず。止むを得ず、観光受付窓口に、カメラをロストの届け出をする。「念のため、もう一度一往復して探しては如何ですか」の助言を頂く。労力は費やすが、再度、1 回目の登り道でカメラロストしていないかどうか点検しながら、急な坂道を登山する。しかし、見当たらず。頂上に到達した際、観光版を撮影したことを思い出す。デジカメかどうか確認するが、観光版の画像はなし。そこで、この観光版をデジカメで撮ったと記憶が蘇る。掲示板からロストに気が付いた地点まで、草むらもかき分け徹底的に捜査する。その結果、草むらにデジカメを収納する際のミスが原因で落ちていた。18 時 18 分、これまでの苦悩が一気に吹き飛ぶ。この感動は生涯忘れないだろう。18 時 40 分、観光窓口に「デジカメが無事頂上で見つかりました」と報告する。



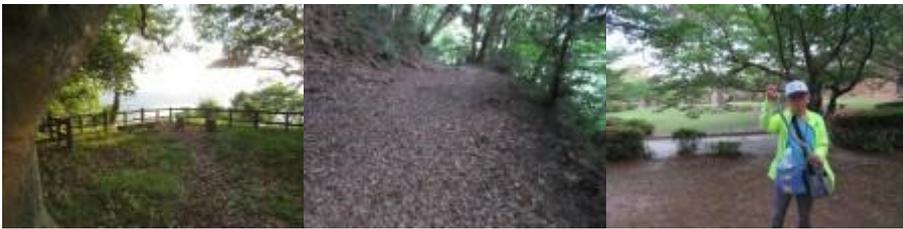
※指月山への道



※萩城要害跡（17時24分）最後の写真となる恐れがあった！！



※カメラ出て来る (18時18分)

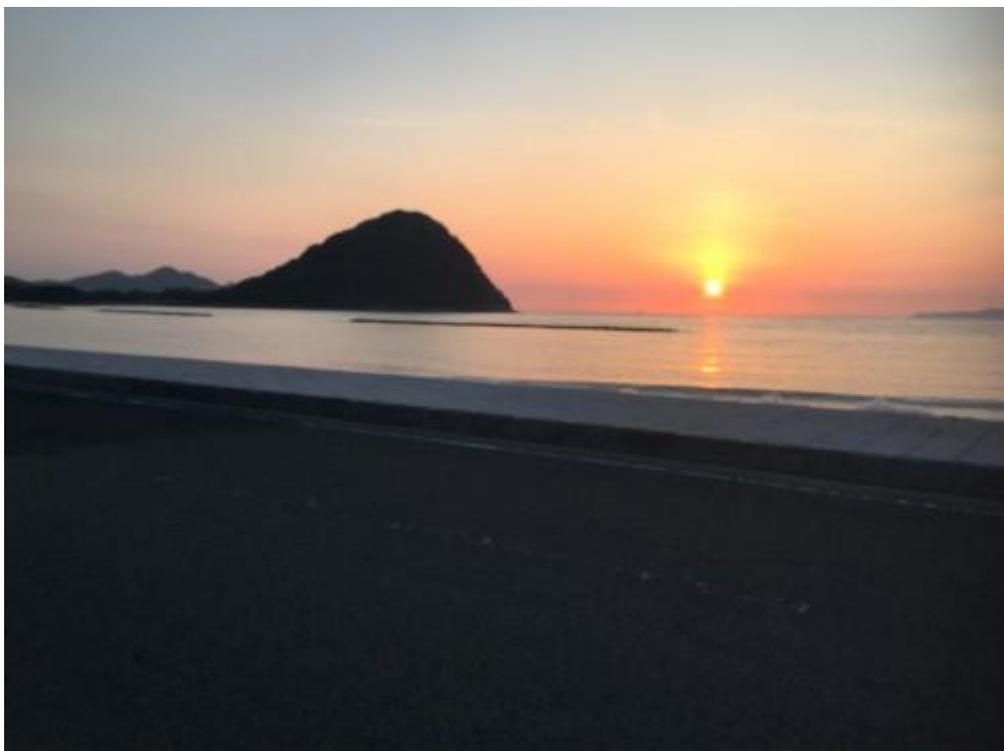


※楽しみながらの下山の道 (18時30分)



※志都岐山神社 (18時45分)

⑨そして、指月山での苦労談を思い出しながら徒歩でホテルまで移動。ホテルで汗を流した後、ホテル前の活魚料理”萩心海”で祝杯をあげる。



※指月山の夕日は生涯忘れないだろう！！(19時9分)



※萩トラベルイン (19時31分)、萩心海 (20時～21時30分)



※萩心海の幸とひれ酒は生涯忘れないだろう！！

(^^♪・・・・・・・・(^^♪・・・・・・・・

フコク生命時代の友人（北海道在住）から心温まるメッセージを恵送頂きましたので、ご紹介します。

嬉しく拝読しております。実は勤続 25 周年の旅行で山陰（萩・津和野）に行きました。松陰先生の小さなお部屋も見学、晋作氏の道も歩きました。萩焼も買いました。その頃を思い出し、懐かしく読み返しております。・・・・・・・・が！その後がいけない！山陰から長崎に足を延ばした一カ月後に長崎支社転勤の辞令をもらってしまいました。

からまつの森 長尾昇蔵

第7節 5日目：6月3日（金）：長門市～長門粟野 晴れ

2022年6月3日（金）晴れ、山陰本線の旅の5日目は、長門市駅から長門粟野駅までの22.5kmに挑戦する。本日も東萩駅発7時7分の始発の列車で長門市駅まで一昨日歩いた路筋を確認しながら移動する。長門市駅には7時46分到着。本日は、初日の5月30日に続き、重いリュックを背負っての歩きとなる。従って、宿泊先も東萩駅から下関駅に移動する。



※いざ下関へ、朝の萩心海（永田町の先生方が立ち寄ったお店）



※長門市駅

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

長門市(7:53)～黄波戸(きわど、9:43)～長門古市(11:18)～人丸(12:53)～伊上(14:45)～長門粟野(16:10)

①長門市駅は美弥線も合流しているので、誤ってそちらの方向に進行しないよう細心の注意を払う。8時3分、山陰本線と美弥線の踏切である城山踏切を横切る。その先に長門市役所（8時7分）があった。8時13分、国道19号線に合流する。



※城山踏切、長門市役所、美弥線横切る

下関78km、特牛（こっとい）32kmと記した道路標識がある。8時16分、美弥線を跨ぐ。8時24分、万歩計で135歩ある橋を渡る際、200m位先に山陰本線の鉄道を見つけ安堵する。8時32分、国道に沿った林から鶯の鳴き声を聞く。長門三隅駅界限でも聞いた。8時46分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。この界限の交差点で県道66号線（長門油谷線）に道筋を変更する。8時53分、海岸線に出る。



※海岸線に出る、紫陽花を背景に、黄波戸駅への道

8時59分、下関まで76km地点を通過。9時8分、紫陽花が綺麗な道筋で記念写真。9時11分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。恐らく山間でJRを跨いで左側になっていたのだろう。本日9時15分、境川バス停（ブルーライン交通）を通過。9時20分、床橋（十楽川）を渡る。幹線道路から少し上った先に黄波戸駅（9時43分）があった。



※黄波戸漁村広場、黄波戸駅案内板



※黄波戸駅

②高台から風光明媚な海岸線を見ながら、坂を上ったり下ったりしながら長門古市駅を目指す。10時18分、小畑バス停前を通過。10時22分、長門市日置上を通過。山道が続く。11時1分、山間から平野部分となる。11時5分、麦刈り場面と遭遇する。11時8分、宮ノ馬場第1踏切を横切り、右側となる。11時13分、日置八幡宮前で本日の安全を祈願する。長門古市駅には11時18分到着。



※長門古市駅への路



※長門古市駅



※長門古市駅、長門古市駅界限

③11時38分、ふれあいイベント広場前を通過。11時45分、日置中学校前を通過。11時48分、万歩計で41歩ある掛溝川を渡る。11時57分、下関69km、特牛23kmと記した道路標識前を通過。12時1分、一円バス停(ブルーライン交通)前を通過。12時10分、涼しい森に遭遇。12時16分、長門市方面に向かう列車と対面する。人丸駅には12時53分到着。駅舎前には、元乃隅神社の赤い鳥居があった。



人丸駅への路



※人丸駅



※人丸駅



※元乃隅神社、伊上駅への路

④ 駅前から続くふれあい通りを暫く歩く。13時28分、JR線下を潜る。13時33分、県道66号線に合流する。13時38分、JR線を跨ぎ鉄道の左側となる。その先に国道191号線があった。この境界で地図の見方を誤り、24分位ロスタイムが生じる。誤って海岸線に沿った歩道に進路変更する。しかし、10分位歩いた先で、ホテル（楊貴館）が立ち塞がり、幹線道路に出られず。止むを得ず、引き返し、先程右往左往した地点まで引き返す。14時6分、国道191号線に合流する。14時15分、JR線を跨ぎ鉄道の右側となる。14時20分、行き止まりとなった楊貴館前を通過。伊上駅には14時45分到着。この駅で朝持参した傘のロストに気付く。



※JR下を潜る、県道66号線に合流、JR線を跨ぐ（右往左往）



※誤った路を進行、前方行き止まりのホテル



※リカバリーへの路、楊貴館



※伊上駅への路、伊上駅



※伊上駅

⑤15時35分、手作りケーキ屋に立ち寄り、ケーキを昼食として代用する。1万円札を細かくするため、途中コンビニなどに立ち寄ろうとするが、沿線には全くなし。小銭が僅かになり、水分補給に困っていた矢先であった。このケーキ屋は一石二鳥の助け舟になった。15時48分、長門市から下関市となる。それにしても、下関市は豊北町や豊浦町を巻き込んだため、長門栗野駅から幡生駅までの山陰本線の営業キロ51.7kmが下関市となった。16時10分、長門栗野駅に到着する。鉄道を跨がず海岸線に沿った歩きは大正解であった。国道を経由していれば、相当の遠回りであった。レールウェイマップルの入り江の表示が現地に比べ小さく、もう少しで勘違いすることであつた。胸を撫でおろす。



※ケーキ屋に立ち寄り、国旗台



※長門栗野駅



※下関駅、長門栗野駅

⑥17時4分の列車で小串まで行き、そこで乗り換えて懐かしい下関駅（18時35分）を目指す。下関での宿泊は初めてとなった。それ故ワクワクした気分となる。東横インには19時1分到着。汗を流した後、ホテルで推奨を受けた美食”宝仙”で本日の疲れを癒す。



※下関駅、下関海峡ゆめタワー



※宝仙



※宝仙で祝杯